

高知県の地域版アウトソーシング事業
(高知県)

<http://www.pref.kochi.lg.jp/~gyoukai/index.html>

〔概要〕

高知県では、インターネットなどの情報通信手段を活用した「テレワーク発注」を取り入れ、県庁から離れた地域でも県庁の仕事に参加できる、「地域版アウトソーシング」を進めている。高知県のアウトソーシングの最大の特長は、単なる行財政のスリム化という観点からだけではなく、県民との協働を進めて人材育成や雇用対策、地域振興、県民サービスの向上などの目的を第一に掲げている点にある。

〔コラム〕

県業務のアウトソーシングを進めるにあたり、東西に細長く、また中山間地域が多いという地理的特徴から、「テレワーク」での発注を活用することによって、アウトソーシングによる雇用の効果を県内全域に広げる狙いがありました。1年目(平成17年)は、OJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)で地域の団体やグループにインターネットを使って仕事を発注することを通じて、発注側・受注側双方が経験を積み、人材を育成することを図りました。このOJTによる成果及び効果を確認した2年目は、さらなる発展のため、ブロードバンド環境の整った地域エージェントを受注の窓口に、地域のメンバーに仕事を分担させ(人材育成)つつ、履行も保証する仕組みを構築しました。3年目以降は、「地域版アウトソーシング」の推進を全庁的な方針として位置づけ、積極的に予算の拡充を続けながら、将来はより幅の広い業務を履行できる体制づくりを促しています。個人の事情(障がいの有無、子育てや介護により在宅での仕事を希望など)に応じた多様な働き方の実現により、たとえ小規模で少額な仕事であっても、在宅での仕事が可能となり、地域との関わりを持つことにも結びついています。更には、行政や地域の課題への関心が高まり、まちづくりや特産品の開発といった地域活動や行政への参画につながるなど、地域に雇用を生み出す効果以外にも、住民力の向上や地域の振興にも役立っています。4年目を迎えた平成20年以降はこれらの効果に着目して、テレワークを通じた地域振興を支える人材、グループの育成や活動支援などを中心に行っています。これらの効果については、高知県のアウトソーシング(地域版アウトソーシングを含む)の3年間の取組の総括としてとりまとめています。

〔平成 21 年度 高知県庁地域版アウトソーシング事業予算〕

782 万円

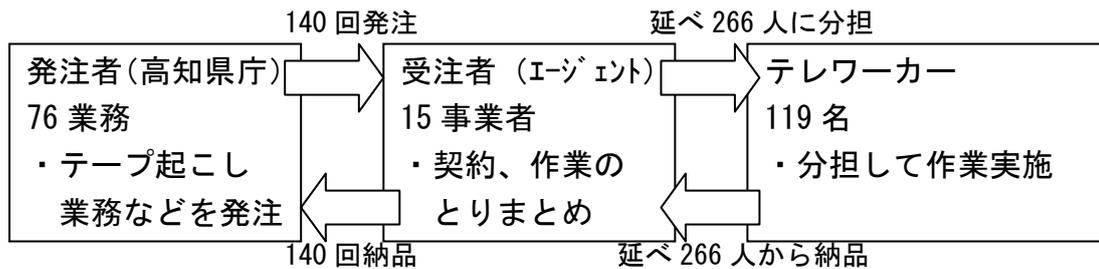
〔平成 20 年度 高知県庁地域版アウトソーシング事業への参加状況〕

参加事業者 7 市町村、15 事業者

発注業務数 76 業務、140 回

(地域版アウトソーシング事業予算以外の業務を含む)

参加者 延べ 266 人 実数 119 名 (とりまとめ役のエージェントを除く)



●高知県のアウトソーシング情報のページ

高知県のアウトソーシング情報

高知県のアウトソーシング情報

ホーム | 取り組み | お知らせ | Kochi ころしお学校 | 発注関連情報 | Q & A | 高知県 HP

※このホームページは、Netscapeの古いバージョンでは正しく表示されないことがあります。

平成21年10月22日更新
高知県総務部 行政管理課

高知県の目指すアウトソーシングとは？

[平成20・21年度「地域版アウトソーシング」お申込み](#)

◆更新情報◆

2008年10月22日	地域版アウトソーシングのページに学習講座と相談業務の案内を掲載しました。
2009年4月23日	平成21年度のアウトソーシング業務などの発注予定情報を平成21年4月10日現在の情報に更新しました。 (平成21年2月と3月のアウトソーシング説明会で配布した資料です。)
2009年2月23日	アウトソーシング説明会(2009年2月20日・3月11日・16日開催)

(問い合わせ先) 高知県総務部行政管理課

e-mail : 110301@ken.pref.kochi.lg.jp